

毎週日曜発行 2019 8/11

# こども新聞 週刊がほピョンプリンス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)

きょうの紙面

- 2 イマ★どき
- 3 3分チャレンジ
- 4・5 いいね 小学校
- 6 英語
- 7 かほくワークシート
- 8 投稿特集



スタンドアップパドルボード(SUP)というスポーツ知ってる？ サーフボードのような専用の板に立ち、パドルをこいで波に乗るんだ。気仙沼市の大島で体験できる

夏休みオススメ **体験型観光**

⑤ SUP 気仙沼

## 海上散歩 潮風心地良く

と聞き、かほピョンは地元の大島小、中学生1人と一緒に楽しんできたよ。



SUPを体験したのは、4月に開通した気仙沼大島大橋から車で5分の遠浅で波の穏やかな田中浜。島の内外の有志でつくるグループ「Oshima Paddle Club(オオシマ・パドル・クラブ、OPC)」のメンバーが乗り方を教えてくれました。



初心者には海に浮かべた大きめのボードに数人で座り、パドルをこぐ練習から。ボードはゆっくりと進み、海上を散歩するような感覚です。緊張していた子ども、すぐに歓声を上げました。慣れてくると立ち上がり、バランスを取りながら立ちこぎに挑戦。海底をのぞき込み、ボードのそばを泳ぐ魚や、岸壁



ボードの上でおっかなびっくりパドルをこぐ子どもたち

すれすれに広がる海藻を観察できるのも魅力です。

1人乗りに挑んだ大島中1年の小松詩和君(12)

は「ボードの上は海風が気持ちいい。陸上からは見えない海の底を見られるのも面白い」と満足そうでした。



OPCがSUPの体験受け入れを始めたのは、東日本大震災後の2013年。代表の小野寺隆太さん(38)が大島で生まれ育った若者が、海離れが進むのを食い止めようと一念発起しました。

「海を避けるのではなく、楽しみながら知ってほしい。海は急に荒れる怖さもあり、ただ遊ぶだけでなく自然そのものを学んで防災にも役立ててほしい」。小野寺さんはこう考えています。

SUP体験は道具レンタル料、保険料を含め1人5000円から(税込み)。小島の浜海水浴場など別な浜でも体験できます。

海の上をすいすい進むのに夢中になっていた。美白パックでお肌ケアしたので、また行こうと。

問い合わせ先 Oshima Paddle Club 090(4310)7433

### 今週の注目ニュース

◇13日(火) ベルセウス座流星群ピーク  
15日が満月なので観測の条件は良くないけれど、太陽の薄明かりが広がる前の未明の約1時間は、空が暗い場所で30個ほどの流れ星が見えそうだよ。がんばって早起きしてみよう。

◇15日(木) 全国戦没者追悼式(東京)  
5月に即位した戦後生まれの天皇陛下が、初めて追悼式に出席します。前の天皇の上皇さまから受け継いだ平和への思いと非戦の願いをどのような「お言葉」で示すのか注目されます。